



7月の園だより

令和6年7月 富田林市立錦郡幼稚園

毎日毎日の積み重ねの中から

～ こどもの心に火をつけよう ～

新年度がスタートして3ヶ月が過ぎました。世界中の全ての生物にも、当然人間にも、物理的な時(とき)というものは、等しく同じ長さで刻まれるのですが、それぞれの発達や成長については、個体によって違いが見られます。

例えば、『ビオトープ大作戦』終了時、ビオトープ川の右岸(園庭側の岸边)は、全て土に覆われて、草木はただの一本もない状態でした。この先どうなるのかなと気を揉んだことを覚えています。あれからわずかに7ヶ月、今では当たり前のように、最初からそこにあったかのように、緑のグラデーションが広がっています。また対岸には、『にしこおり柿』が、かわいい実をたくさんつけています。しかし、去年はただの一つもつきませんでした。今年はいわゆる当たり年かもしれませんね。ちなみに『にしこおり柿』というのは、昔から錦織の地にある品種の柿だそうです。時の長さを感じずにはられません。

さて、人間でも、体つき、考え方、感じ方 etc など、個々に違いがあります。一定期間、例えばこの3ヶ月でみても、発達や成長の度合いは、ひとりひとり違います。また、何をもって発達した、成長したとするのかは難しく、なかなか決めることはできません。それでも、本園のこどもたちが、発達し成長し続けていることは確かです。前日の姿からは、なかなか見えにくいのですが、4月の姿から考えるとよく分かります。さらには、毎日毎日の幅の広い自発的な「やってみよう！」この積み重ねこそが、すべての発達や成長の源なのです。

前月の園だより(『親』は木の上に立って見る)の続きにもなりますが、保護者や地域、私たち職員等大人の、そして幼稚園の役割は、「やりなさい！」と指示を繰り返すことでも、「はい、どうぞ！」と先回りしてすべてを用意することでもありません。こどもたちが自ら「やってみよう！」と思えるように環境を整え、その心に火がつくように支援していくことだと、お互いに再確認していきましょう。引き続きよろしくお願いします。

本格的な暑さとなってきました。ご自愛くださいませ。

園長 塩野 義和

育てたいこと

- 3歳児 ・先生や友達と一緒に水遊びを楽しむ。
・七夕、夏のつどい等、季節の行事を楽しむ。
- 4歳児 ・梅雨から夏への季節の移り変わりや身近な自然を見たりふれたりして興味をもつ。
・自分の思いを表現しながら友達や教師と思い切り遊ぶことを楽しむ。
- 5歳児 ・夏の遊びを十分に楽しみながら友達から刺激を受けたり、自分の思いや考えを出し合ったりして遊ぶことを楽しむ。
・身近な自然に興味関心を持ち、野菜や花の生長や収穫に期待をもつ。



お誕生日 おめでとう

7月生まれのおともだち

ほし組、はな組、そら組の子ども

たちがお誕生日でし

